



初日の出 (沖洲coast)

撮影 和田大助

### Topics

- 新年の御挨拶
- 診療科紹介 眼科
- 瀬戸フィル弦楽四重奏コンサートを開催しました
- 地域医療・患者支援センターからのご案内

## 新年の御挨拶

新年あけましておめでとうございます。旧年中はいろいろとお世話になり誠にありがとうございました。

昨年は能登半島地震に始まり、8月には南海トラフ地震臨時情報の発表、続いて台風10号関連で県内初の線状降水帯発生情報がありました。災害拠点病院におけるBCP整備とともに、日頃より災害に対する意識を高く持ちあわせることの重要性を強く感じる年になりました。能登半島地震につきましては、当院からもDMATを派遣することができ、被災地で医療提供・支援を行いました。高松市が災害に見舞われた場合、傷病者の受入れをはじめとする医療救護活動において当院には中心的な役割が求められていると実感しています。

また、昨年4月からは医師の働き方改革が施行されております。それに伴い医療従事者間のタスクシフト、タスクシェアの推進が加速しているように思います。当院でも医療従事者がオーバーワークにならないように、なおかつ地域医療の砦として必要とされる医療を提供できるよう努めているところです。昨年12月からはマイナンバーカードの保険証利用の導入が本格的に始まりましたが、今後は医療DXが地域医療における効率化、合理化にどのように良い影響をもたらすのかに期待しているところです。

おかげさまで高松市立みんなの病院は開院6周年を迎えることができました。皆様方のお支えに対して改めてお礼申し上げます。十分でないところもあったと思いますが、ご理解とご協力によりまして、地域に果たす役割を維持できているかと思っている次第です。今年も各医療機関との連携をさらに深めてまいりたいと思っておりますし、地域医療連携セミナーなどを通じて最新の知見をお届けできるよう努めてまいります。

今年は巳年となりますが、蛇は脱皮をすることから「復活と再生」を連想させ、不老長寿や強い生命力につながる縁起の良い動物と考えられています。今年も職員が一丸となって、ご利用いただく皆様の「生きる力を応援」できますよう努めてまいります。新たな年が皆様にとりましてすばらしい1年になりますことを祈念申し上げます。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

高松市立みんなの病院 院長 六車直樹



当科は、常勤医師1名、非常勤医師1名で診療を行っています。2名とも日本眼科学会専門医です。外来は月から金までの午前中で、火・水・木は2診制で行っています。なお、他院から紹介をご希望される場合は、地域医療・患者支援センターを通して、予約をお願い致します。午後は火・水は手術日、それ以外の月・木・金は検査・処置・小手術を予約制で行っています。



## 診療内容

眼科疾患全般（眼瞼・角膜・結膜・水晶体・ぶどう膜・網膜硝子体疾患、緑内障、感染症、斜視・弱視、外傷 等）をカバーして診察しています。手術治療は白内障、緑内障、眼瞼・結膜疾患、網膜・硝子体疾患などを中心に行っています。網膜静脈閉塞症・糖尿病網膜症に伴う黄斑浮腫、加齢黄斑変性に対する抗VEGF薬の硝子体注射も行っております。

## 白内障手術

眼科の手術の中で、最も多く行っている手術です。局所麻酔下に、混濁した水晶体の中身を除去して、眼内レンズを挿入する手術です。令和5年の手術件数は298件でした。日帰りで行われることが多い手術ですが、当院では希望に応じて入院にも対応しています。入院68%、日帰り32%の比率です。入院できることで、手術に対して安心感が得られる場合もあると思います。患者さんの状況によっては、全身麻酔での手術を選択する場合があります。

なお、当院では挿入している眼内レンズは単焦点のレンズです。

## 糖尿病網膜症

令和4年(2022)の厚生労働省の国民健康・栄養調査の結果では、「糖尿病が強く疑われる者」の割合は男性18.1%、女性9.1%です。最近の10年間でみると、男女とも有意な増減はみられません。

また、少し古いデータですが、平成3年の厚生労働省糖尿病調査研究班による合併症調査によると、糖尿病患者のうち、38.3%の割合で糖尿病網膜症を合併していることが報告されています。

糖尿病を指摘されている患者さんの場合、内科に通院している方は多いのですが、眼科で定期的に眼底検査を受けられている方は少ないように感じています。糖尿病網膜症において、自覚症状が出現するのはかなり進行してからになります。早

期発見・早期治療を行うことで、将来の自分の視力を守ることができます。糖尿病の方は定期的に眼底検査を受けて下さい。

## 緑内障手術

日本人の視覚障害の原因疾患の第1位は緑内障(28.6%)です。第2位：網膜色素変性症(14.0%)、第3位：糖尿病網膜症(12.8%)と続きます。緑内障手術は年々改良が進み、術式も増えて、治療成績もかなり改善されてきました。現在来てくれている非常勤医師(藤原Dr.)は、元々徳島大学で緑内障外来を担当していたこともあり、必要に応じて比較的侵襲の少ない流出路再建術(眼内法)を執刀してもらっています。

## 硝子体手術

網膜・硝子体疾患(黄斑上膜、黄斑円孔、硝子体出血、糖尿病網膜症、網膜剥離など)に対して、硝子体手術を行っています。硝子体カッター、眼内器具、眼内照明を直接眼内に差し込んで行う手術です。白内障を認める場合は、同時に白内障手術も行います。現在、常勤医師が1名のため、硝子体手術は抑え気味にしています。緊急の場合は、事前にご相談下さい。

## 眼瞼手術

加齢とともに眼瞼を持ち上げたり支えたりする筋力が衰え、眼瞼下垂や眼瞼内反が起こります。当科でも手術治療を行っていますが、症例によっては当院形成外科に紹介させていただきます。まずはご相談下さい。

## 抗VEGF治療

糖尿病網膜症・網膜静脈閉塞症による黄斑浮腫、加齢黄斑変性などに対して、抗VEGF薬(アイリーア・バビースモ)の硝子体内注射も行っています。

## 広角眼底撮影

令和6年10月に超広角眼底撮影が可能なニコン社製optosが導入されました。0.4秒で超広角の眼底の記録が可能です。ほとんどの場合、無散瞳状態でも撮影が可能のため、車で受診されている方にも対応できます。



(文責 谷 英紀)

		月	火	水	木	金
眼科	午前	谷 英紀	谷 英紀	谷 英紀	谷 英紀	谷 英紀
			藤原 亜希子 (非常勤医師)	藤原 亜希子 (非常勤医師)	藤原 亜希子 (非常勤医師)	
	午後	検査・処置	手術(谷 英紀)	手術(谷 英紀) (藤原 亜希子)	検査・処置	検査・処置

# 瀬戸フィル弦楽四重奏コンサートを開催しました

12月23日、5年ぶりにクリスマス会を開催しました。

入院患者さんや地域の方など、多数の皆様にも、瀬戸フィルメンバーによる弦楽四重奏コンサートをお楽しみいただきました。

ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロの美しい音色と、音楽のお話に聴き入る時間となりました。

瀬戸フィルの皆さま、素敵な演奏をありがとうございました。



## 地域医療・患者支援センターからのご案内

先般はお忙しい中、「広報紙等デジタル化に関するアンケート」にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

おかげ様で貴重なご意見を多数頂戴することができました。頂戴したご意見を、今後の参考にさせていただきます。

なお、引き続きデジタル化等への変更は、こちらのQRコード、メール、お電話にて随時受け付けております。お気軽にご連絡ください。



当院WEBサイトにも、各種掲載しております！



【問合せ先】

地域医療・患者支援センター 橋本・杉原  
087-813-7171 (代)  
spau66r9@dance.ocn.ne.jp

### FAX予約を お願いします



患者さんをご紹介いただく際に、地域医療・患者支援センターへ事前にFAX予約をお願いいたします。

受付時間	平日(月～金) 8時30分～18時00分 土曜日 9時30分～13時00分 ※土曜日はFAX予約受付のみ
電話	(087)813-7171(代表) / (087)813-6699(紹介予約専用)
FAX	(087)813-6799(直通) 0120-834-224(フリーダイヤル  ) ※フリーダイヤルは県内固定電話のみ対応しております。